

平成21年度 知能機械情報学専攻

大学院博士課程入学試験問題

「知能機械情報学（論述）」

試験日時：平成20年8月26日（火）13：00～14：40

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないこと。
2. 問題は問題1と問題2がある。全部に解答すること。
3. 問題冊子に落丁、乱丁、あるいは印刷不鮮明な箇所があれば申し出ること。
4. 答案用紙は2枚配布される。枚数を確認し、過不足があれば申し出ること。問題ごとに1枚の答案用紙を用いて解答すること。答案を表面で書ききれない場合は裏面を使用しても構わない。その際は裏面にも解答した旨を表面に記入すること。
5. 答案用紙の指定された箇所に、科目名の「知能機械情報学（論述）」、受験番号、その答案用紙で解答する問題番号を記入すること。これらが記入漏れの場合は採点されないことがある。
6. 解答に関係のない記号や符号を記入した答案は無効となる。
7. 答案用紙は、解答ができなかった分も含め、2枚全て提出すること。
8. 下書きは問題冊子の草稿用のページを用いること。
9. この問題冊子にも受験番号を記入し提出すること。

受験番号	
------	--

上欄に受験番号を記入すること。

草稿用紙
(切り取らないこと)

草稿用紙
(切り取らないこと)

問題 1

以下の問に答えよ。

- 問1. 「サイエンス」と「テクノロジー」について、その定義としてあなたが考えるところを簡潔に論ぜよ。
- 問2. 20世紀以降において、サイエンスの発展に寄与したテクノロジーの例を1つあげ、そのサイエンスの成果とともに説明せよ。
- 問3. 20世紀以降において、サイエンスの発展が可能にしたテクノロジーの例を1つあげ、それによってわれわれの生活がどのように変化したかを説明せよ。
- 問4. 「ロボットの知能」という研究テーマを取り上げる。
- (1) このテーマが、あなたが問1で定義した「サイエンス」に分類されるという立場に立って、その理由を論じなさい。問3のようなサイエンスに当てはまると考える場合には、考えられる生活の変化にも言及しなさい。
 - (2) このテーマが、あなたが問1で定義した「テクノロジー」に分類されるという立場に立って、その理由を論じなさい。問2のようなテクノロジーに当てはまると考える場合には、寄与するサイエンスについても言及しなさい。

以上

草稿用紙
(切り取らないこと)

問題 2

博士課程で取り組みたいと考えている研究テーマについて、以下の問に答えよ。

- 問 1. 研究テーマを適切に表現するタイトルを考え、日本語と英語で記せ。
- 問 2. 博士課程で達成しようと考えていることを述べ、そのための具体的計画と主要課題を述べよ。
- 問 3. その研究を行う価値や重要性を、複数の視点から説明せよ。
- 問 4. 自分の夢や将来像を述べ、その中での博士課程の研究の位置づけを述べよ。

以上

草稿用紙
(切り取らないこと)

草稿用紙
(切り取らないこと)

草稿用紙
(切り取らないこと)